

## イトレーター

超短波 電位 家庭用治療器

## Super ひまわり

添付文書

## 取扱説明書



管理医療機器  
電位・超短波組合せ家庭用医療機器(JMDNコード:71000000)  
スーパーひまわり  
医療機器認証番号 226ACBZX00001000

## 目次

正しく安全にお使いいただくために……	2~13
一般的注意事項	4
使用前のご注意	6
使用中のご注意	8
使用後のご注意	10
保管方法及び有効期間等	10
取扱上のご注意	11
保守・点検に係る事項	11
スーパーひまわりの構成内容	14
本体の各部名称とはたらき	16
スーパーひまわりの主な特長	20
<b>超短波</b>	
基本的な使用例	22
ご使用前の準備	24
本体の操作方法	26
別売オプション品	30
<b>負電荷</b>	
基本的な使用例	31
ご使用前の準備	34
本体の操作方法	36
こんなときどうしたらいいの?	40
電子療法について	40
故障かな?と思ったら	41
操作早わかり	42
お客様安心サービス	裏表紙

・保証書とユーザー登録カードについて  
・アフターサービス・ISO認証取得・健康セミナー

このたびは「スーパーひまわり」をお買い求めいただき、ありがとうございます。  
本器を使用する前に取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。  
また、いつでもお読みいただけるよう、大切に保管してください。

# 正しく安全にお使いいただくために

- 取扱説明書は本治療器を安全にお使いいただくために必要です。治療器を人に貸したり、差し上げるときには必ずこの取扱説明書を一緒にお渡してください。
- ご使用前に、この「取扱説明書」をよく読み、注意事項を守り正しくお使いください。

## 禁忌・禁止

次のような人及び部位には、使用しないでください。

	超短波	電位
・糖尿病などによる高度な末しょう(梢)循環障害による知覚障害のある人	×	×
・重度な血行障害のある部位	×	
・中程度以上の重い浮腫のある部位	×	
・血友病などの出血性素因の高い人	×	
・心臓病と診断され、日常の過激な運動を制限されている人		×
・温熱に対して感覚の鈍い人や温度感覚喪失が認められる人	×	×
・金属製物質（人工骨頭、埋没くぎ、金属製クリップなど）やプラスチックなどを体内に植え込んだ部位	×	
・刺青及びその周辺部位	×	
・ラメ素材など化粧品が使用されている部位	×	
・出血部位または月経時の腹部	×	
・乳幼児（6才以下）	×	×
・男性生殖器	×	
・適用部位の皮膚に異常（感染症、創傷など）のある人	×	×
・頭部（脳、目、耳など）	×	×
・その他、医師が不相当と認めた人	×	×

## 併用禁忌

・ペースメーカー、植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器とは同時に使用しないでください。	×	×
・心電計などの装着形の医用電気機器とは同時に使用しないでください。	×	×
・補聴器は外してください。	×	
・他の医療機器や電気機器とは同時に使用しないでください。	×	×

- あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、下記のような絵表示をしています。危害や損害の程度を表わしていますので、内容を理解してから本文をお読みください。

**危険**

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫っていることが想定される内容を示します。

**警告**

取扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

**注意**

取扱いを誤ると、人が傷害を負う可能性、または物的損害が想定される内容を示します。

## 表示例



は、本器の取扱いにおいて、発火、破裂、高温などに対する注意を喚起するための絵表示です。

※表示例は「感電注意」です。



は、本器の取扱いにおいて、その行為を禁止する絵表示です。

※表示例は「分解禁止」です。



は、本器の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する絵表示です。

※表示例は「プラグをコンセントから抜く」です。



愛情点検

は、修理点検の確認をお願いする絵表示です。

この取扱説明書のイラストはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

# 正しく安全にお使いいただくために

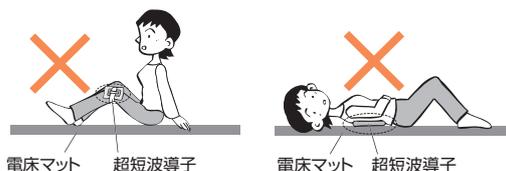
## 一般的注意事項（共通）

### 危険

 浴室などの湿度の高い所では使用しないでください。

 電床マットの上では、超短波（マイクロ波を含む）を使用しないでください。

電床マットが焦げて火傷または熱傷、火災などの恐れがあります。（電床マットが本体に接続されていない場合も同様です）



### 警告

 他の治療器の部品や付属品などを流用しないでください。

規格や仕様が異なるため、事故や故障の原因となります。

 治療や日頃の健康管理以外の目的で使用しないでください。

特にペットへの使用は避けてください。

 本体背面及び側面の通気孔をふさぐような使い方（布団の上や下に置いたり、壁に寄せるなど）はしないでください。

本体内部が熱をもち、故障の原因となります。

 本体を寒い場所から温かい場所に移動した直後に使用しないでください。

本体内部で「結露現象」が生じる恐れがあります。この状態で使用すると表示部の誤作動や故障の原因となります。使用するときは移動後2時間以上経過してから電源を入れてください。

 交流 100V、50/60Hz 以外では使用しないでください。

規格の異なる海外での使用は発火、ショート、感電などの原因となります。

 定められた手順で操作してください。また、子供には操作させないでください。操作を誤ると事故や故障の原因となります。

### 警告

 本体の出力口に差し込んだプラグを踏みつけたり、大きな力を加えたりしないでください。

プラグや出力口が破損し、事故や故障の原因となります。

 本体の上に重いものや飲み物などを置かないでください。

内部に水が入ると発火・ショートなどの事故や故障の原因となります。

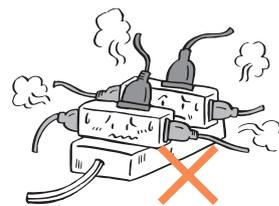
 コード類のプラグにゴミ、ほこりなどを付着させたまま使用しないでください。

発火、ショートなどの原因となります。

 電源コードなどすべてのコード類を傷つけたり、破損したり、無理に引っ張ったり、曲げたり、ねじったり、束ねたり、挟み込んだりしないでください。

 コンセントや配線器具の定格容量を超える使い方はしないでください。

タコ足配線などで定格容量を超えると発熱による火災の原因となります。また、タコ足配線をする和本器や他の電気製品がお互いに誤作動する可能性があります。



### 注意

 本器は、一人用家庭用治療器であり、複数の人が同時に使用しないでください。

 治療部位や症状、回数などは年齢や体調などにより個人差があります。取扱説明書をよくお読みになり、定められた使用時間を超えないようにしてください。不明な点はお求めの販売店またはお客様センター（裏表紙）に相談してください。

 使用しても効果が現れない場合は、医師または専門家に相談してください。

本器を設置する際は、次の点に注意してください。

警告

-  水のかからない場所に設置してください。
-  補助を必要とする人（子供を含む）には使用させないでください（ただし、保護者、医師または専門家の監督下で使用する場合は除く）。また、子供が機器本体及び導子で遊んだり、上に乗ったりしないようにしてください。

注意

-  本体は安定状態を保つように心がけ、傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などが発生しないように注意してください。
-  温度、湿度、日光、ほこり、及び塩分・イオン分を含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に設置してください。  
劣化を早め、事故や故障の原因となります。

## 一般的注意事項（超短波）

危険

-  超短波治療をする場合、粘着パッド・電床マット・局所導子は、必ず本体から抜いてください。また、粘着パッド・局所導子は身体から外し、電床マットは取り除いてください。  
火傷や、焼け焦げの原因となります。
-  治療中、温感が高すぎると感じたときは、我慢せずに治療を中止してください。または、タオルなどをあてて、熱さを弱めて治療してください。

警告

-  超短波導子にソース・醤油・墨汁・インクなどをこぼした場合は、火傷または熱傷、ならびに焼け焦げの原因となりますので、新しい導子と交換してください。また、導子カバーは、洗濯などで汚れを落とし、十分乾燥させてからご使用ください。
-  導子を強く折りたたんだり、きつく丸めたり、重い物を乗せたりしないでください。
-  超短波導子は水に濡らさないでください。万一濡らしてしまった場合は、使用せず、新しい導子と交換してください。

次の機器との併用は、機器に誤作動をまねく恐れがありますので使用しないでください。

危険

-  電源が入っていない状態、あるいは電源コードを接続していなくても、導電性のあるものの上では使用しないでください。  
例）電位（高周波を含む）電床マット  
電気毛布や敷布、電気カーペット  
電気毛布や電床マットが焦げて火傷または熱傷、火災などの恐れがあります。

警告

-  他の治療器や電気製品（電気毛布や電気カーペット、敷布、こたつ、あんかなど）との同時使用はしないでください。  
過度な刺激で体調を損なったり、電気製品が誤作動したり、電気カーペットが焦げるなど事故の原因となります。
-  電動ベッドの上で治療器を使用する場合は、必ず電動ベッドの電源を抜いてください。  
誤作動や故障の原因となります。

# 正しく安全にお使いいただくために

## 一般的注意事項（電位）

- 警告**  電床マットや局所導子に金属を接触させたり出力口に金属製の棒やハサミ、ピンなどを差込まないでください。また、電床マットと局所導子のコードには、金属類を近づけたり他の電気のコードと交わらないようにしてください。  
感電、発火の原因となったり、他の電気製品に異常を起こすなどの恐れがあります。
- 警告**  連続して8時間以上使用しないでください。  
電源を入れたまま放置すると機器の寿命を縮めたり、事故の原因となります。

- 警告**  電床マットや局所導子が濡れていたり、湿っている場合は、十分に乾燥させてから使用してください。ドライヤーを使用したり、ストーブにあてるなど急激な乾燥はしないで、陰干しなど自然に乾燥させてください。
- 注意**  梅雨期や湿気の多い地域では、電床マットや布団を十分乾燥させるなど、絶縁状態をできるだけよくしてください。絶縁状態が悪くなると効果が弱まります。
- 警告**  電床マットの汚れは薄めた中性洗剤液を含ませたブラシで軽く拭いてください。

## 使用前のご注意（共通）

- 警告**  導子（コード、プラグを含む）の損傷やコネクターの接続不良などが無いか、使用前に確認してください。万が一、不具合が確認された場合は、使用しないでください。  
販売店または製造販売元へお問い合わせください。
- 警告**  導子を使用する際は、正しく装着してください。
- 警告**  全てのコードは容易に離脱しないように正しく確実に接続してください。  
発火やショートなどの原因となります。

- 注意**  愛情点検 しばらく使用しなかった治療器を再使用するときは、使用前に必ず治療器が正常かつ安全に作動することを確認してください。また、6ヶ月以上使用しなかった場合は、使用前に販売店で点検を受けてください。  
スイッチなどを入れ、本体と付属品が正常かつ安全に作動するか確認してください。
- 警告**  スイッチ、タイマーなどが正常に作動するか確認してください。

次の人は、医師と相談の上、使用してください。

- 警告**  病名などがはっきりしない人
- 警告**  悪性しゅよう（腫瘍）のある人
- 警告**  心臓に障害のある人
- 警告**  妊産婦
- 警告**  体温 38℃以上（有熱期）の人  
例1）急性炎症症状 [けん（倦）怠感、悪寒、  
        血圧変動など] の強い時期  
例2）衰弱しているとき

- 警告**  安静を必要とする人
- 警告**  せきつい（脊椎）の骨折、ねんざ（捻挫）、肉離れなど、急性 [とう（疼）痛性] 疾患の人
- 警告**  寝たきりの人
- 警告**  その他医師の治療を受けている人や身体に異常を感じている人

次の人は介護者のもとで使用してください。

**警告** ! マヒなどで身体の自由が利かない人

**警告** ! 7～12歳の子供

次のような人や部位への使用は、慎重に判断してください。

**警告** ! 認知症の人や、意思表示ができない人  
! 判断能力を欠くほどお酒を飲んだ人

**警告** ! 睡眠薬を飲んだ人（判断能力を欠き事故の原因となります）

## 使用前のご注意（超短波）

**警告** ! 次のものを身に付けたまま使用しないでください。また、不明な点は機器の販売店または製造販売元へお問い合わせください。

- ・使い捨てカイロ
- ・金属類（ネックレス、ベルト、時計、メガネ、イヤリング、車のキー（キーレスエントリーキー含む）など）
- ・導電性衣料（光により熱が高まる機能繊維、サンダーロン<sup>®</sup>繊維使用もしくはジャンヌ・ダルクなどのサンダーロン<sup>®</sup>繊維、ヒートテック<sup>®</sup>などの吸着発熱素材を含む肌着などの衣料、ラメ入り、金糸・銀糸入りや炭素繊維・静電気防止用繊維など）

また、次のようなものの上や周囲では使用しないでください。

- ・特殊綿（プラチナ繊維、トルマリンなど）や炭素材入り布団・まくら
- ・磁気入り布団
- ・墨入り（炭素材など）の畳
- ・ソース・醤油・墨汁・インクなどのシミがついた座布団・布団・畳

火傷または熱傷などの事故の原因となります。

**警告** ! 治療部位の皮膚が乾燥していることを確認してください。湿布剤、塗膏剤などが塗られていたり、汗などで濡れている場合は、必ず拭き乾燥させてください。

皮膚が濡れたままで治療すると火傷または熱傷の原因となります。

**警告** ! おむつを使用している部位へは照射しないでください。

火傷などの危険があります。

**警告** ! 絆創膏または湿布などの湿った包交物、ゲルマや磁気治療器などの金属物を含む絆創膏の上への照射は避けてください。

**警告** ! 気分が悪くなることがありますので、空腹時、腹部に超短波を透射することは避けてください。

**警告** ! 使用中の導子を本体や金属類（電気製品、ワゴン、ラメ入り畳や座布団など）、付属品類（電床マット、粘着パッド、接続コードなど）の上に絶対に置かないでください。熱をもち事故や故障の原因となります。

**警告** ! 汚れた衣服や汗などで濡れたタオルを使用して治療をするのはおやめください。

**警告** ! 導子コードを束ねたり、巻きつけて使用しないでください。熱をもち事故や故障の原因となります。

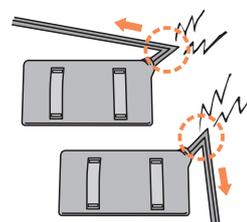
**注意** ! 導子コードは、超短波の影響を受けやすいもの（金属や炭素繊維など）や、他の電気製品のコードと接触しないように配置してください。

**警告** ! 金属枠を使用したイスやベッドなどの上で使用しないでください。

ピリッとしたり、火傷または熱傷の原因となります。また、治療中に周囲のイスやベッドなどの金属部や、他の人に触らないよう注意してください。

**警告** ! 下図のような方向にコードが引っぱられないように、超短波治療器本体を置いてご使用ください。

コード付け根部分の芯線が断線しやすくなります。



※「サンダーロン」、「ジャンヌ・ダルク」、「ヒートテック」は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

# 正しく安全にお使いいただくために

次の人は、医師と相談の上、使用してください。

-  **!** 血栓症の人
-  **!** 低温やけどをしたことのある人
-  **!** 血圧異常の人

次のような人や部位への使用は、慎重に判断してください。

-  **!** 皮膚知覚が低下している人、または部位
-  **!** 成長期の子供の骨端、または骨が非常に突起した部位

## 使用前のご注意（電位）

-  **!** 金属繊維などの導電性物質を含む布団とともに使用しないでください。
-  **!** 導子が濡れている場合には、使用しないでください。

次の人は、医師と相談の上、使用してください。

-  **!** 血管障害の恐れのある血圧異常の人

1時間以上使用する場合、次の人は、医師と相談の上使用してください。

-  **!** 高血圧の人
-  **!** 不整脈のある人
-  **!** 睡眠時無呼吸症の人
-  **!** ぜん（喘）息の人

## 使用中のご注意（共通）

-  **!** 本器に異常を感じたとき（異常音がする・本体が熱いなど）は、直ちに使用を中止してください。  
電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

-  **!** 導子に金属を接触させたり、出力口に金属製の棒やハサミ、ピンなどを差し込まないでください。また、導子のコードには金属類を近づけたり、他の電気のコードと交わらないようにしてください。  
感電、発火の原因となったり、他の電気製品に異常を起こすなどの恐れがあります。

-  **!** 治療目的にあった治療時間・出力を超えないように注意してください。

-  **!** 本器は使いやすい姿勢で、緊張せずにリラックスして治療してください。

-  **!** 粘着パッドを使用し、身体に異常を感じたり、発疹、発赤、かゆみなどが現れたりした場合は、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。

-  **!** 使用中、導子コードの抜き差しをしないでください。また、抜くときは電源が切れていることを確認してください。  
事故や故障の原因となります。

-  **!** 電話（携帯電話を含む）やインターフォン、テレビのリモコンやパソコン、精密機器などを使用しながら治療しないでください。また使用中の電話機やインターフォン、自動ドアや火災報知器のセンサーの近くで治療しないでください。

電話機にノイズが入ったり、故障の原因となります。他の電気製品とはできるだけ（2m以上）距離をあけて使用してください。他の電気製品に異常を起こしたり、逆に電気製品の影響で異常が発生したりする恐れがあります。

## 警告

- ！ 身体に異常を感じたり、現れたりしたとき（発赤など）は、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。  
症状が悪くなる可能性があります。

## 警告

- 雷や地震、停電時は使用を中止し、スイッチなどを元の位置に戻し、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
復帰時に事故や故障の恐れがあります。

## 使用中のご注意（超短波）

## 警告

- ！ 使用当初、低血圧や貧血、または虚弱体質の人は、疲労感を覚えることがあります。また、身体異常（発赤、腫脹、頭痛、ふしぶしの痛みなど）が現れたり、感じたときは、直ちに使用を中止してください。

中止しても症状が軽減しない場合は、医師に相談してください。

- ！ 導子コードは特性上、使用中に一定の熱を持ちます。また、長時間の使用や使用方法、出力設定などによっては、温度が上昇することがあります。

- ！ 超短波導子は素肌の上から直接あてず、またコードも直接素肌に触れないようにして、必ず乾いたタオルや服の上からあててください。

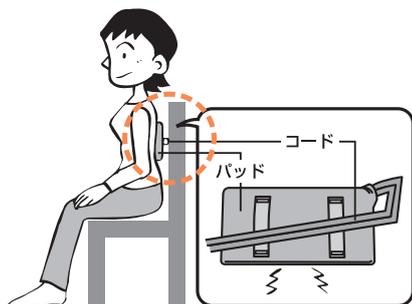
直接あてると、火傷または熱傷などの原因となります。

- ！ ひじ・膝など骨のとび出た部位へ導子をあてるときは、衣服の上から使用する場合でも、乾いたタオルをあてがってください。

火傷の原因となります。

- ！ 超短波導子のパッドとイス・ベッド・床などの間にコードが挟まった状態で使用しないでください。

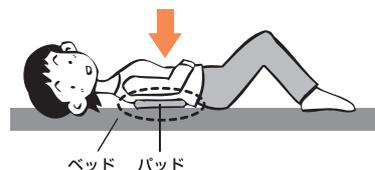
パッドがコードに作用して、異常発熱する恐れがあります。



## 警告

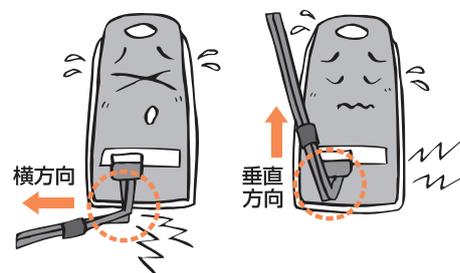
- ！ 超短波導子のパッドが身体とイス・ベッド・床などの間で強く圧迫された状態での使用はお避けください。

パッドが発熱したり、火傷または熱傷をする恐れがあります。またイス・ベッド・床・ふとんなどが焦げる恐れもあります。



- ！ 使用中、下図のような方向にコードを引っぱらないでください。また、超短波導子を抜く際は、プラグを持って抜いてください。

プラグの根元や内部で断線しやすくなります。



- ！ 治療中に汗をかいた場合は、すぐに拭いてください。

火傷の原因となります。

- ！ 足首や膝を合わせた状態で導子をあてる治療は、絶対にしないでください。タオルなどをあてがっても、左右の足が触れることがあり、接触部に火傷または熱傷を起こす恐れがあります。



# 正しく安全にお使いいただくために

⚠ 注意

- ⊘ 治療中にむやみに超短波導子やコードに触れないようにご注意ください。導子などに触れる場合は、一度電源を切ってください。

チリッと熱い感覚を受けることがあります。

⚠ 注意

- ⊘ 厚手の衣服やタオルを厚めにして使用した場合、温感が感じにくい場合があります。

## 使用後のご注意（共通）

⚠ 警告

- ➡ 電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 注意

- ! 次回の使用に支障がないように清浄にし、付属品収納袋に入れて、整理保管してください。また、お手入れは水かぬるま湯を含ませて固く絞った布で拭いてください。水洗いなどはしないでください。変色・変形の原因となるのでシンナー、ガソリン、灯油などの揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないでください。

- ! コード類の抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。

コードを持って行くと断線やショートなどの原因となります。



⚠ 注意

- ! スイッチなどを元の位置に戻した後、電源を切ってください。

- ! 電源コードを本体背面のフックに巻き付ける際、コードを強く巻き付けると本体からのコード引き出し部やコード自体にストレスが加わり断線する恐れがあります。

- ➡ 使用を中断する場合や使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

導子のプラグも出力口から抜くなど、治療後は使用前の状態に戻してください。

- ! 機器を衛生的に保つための清掃、予防点検及び保守に関しては、「保守・点検に係る事項」を参照してください。

## 保管方法及び有効期間等（共通）

保管場所については次の事項に注意してください。故障の原因になることがあります。

⚠ 警告

- ⊘ 風呂場、台所、車の中、火気の近く、直射日光の当たる場所など、湿度の高い場所やほこりの多い場所、水のかかる場所ならびに塩分・イオウ分を含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのある場所には保管しないでください。

機器の寿命を縮めたり、熱や水分などにより本体変形や、火災や感電などの原因となります。

⚠ 注意

- ! お子様の手の届かない所に保管してください。

落としてけがや破損の原因となります。

- ! 本体は安定状態を保つように心がけ、傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などが発生しないように注意してください。

- ➡ 長期間ご使用にならない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因となります。

## 取扱上のご注意（共通）

警告

 濡れた手で本体の操作は、絶対におやめください。

感電の原因となります。

 機器及び付属品または容器・包装品などを廃棄する場合は、環境への影響を少なくするため、地域で定められている規則に従って処分してください。

 本体や付属品が傷ついたり破損している場合は、使用しないで買い求めの販売店または製造販売元へご連絡ください。

 本体ケースは絶対に開けないでください。内部は高電圧が発生しており、感電する恐れがあります。

 間違った使用や乱暴な取り扱い、あるいは長年の使用は、コードの断線などにより、火傷または熱傷・火災など思わぬ事故の原因となることがあります。

警告

 機器を他にぶつかけたり、倒したり、落下など強い振動や衝撃を与えないでください。そのときに異常がなくても内部の損傷が進み、故障、事故の原因になることがあります。

誤って落とした場合は、必ず点検を受けてください。

 一度使用した医療機器（中古医療機器）を業として他に販売、譲渡または貸与する場合は、必ず事前に製造販売元へ連絡してください。

点検・修理を行い安全を確認された機器以外は、販売・貸与・譲渡はできません。

注）販売・貸与を業として行うには、「管理医療機器販売業」と「管理医療機器貸与業」の届けをして、さらに「古物営業法」の許可を受けていることが必要です。

## 取扱上のご注意（電位）

警告

 電床マットは、強く折りたたんだり、きつく丸めたり、重い物を乗せたりしないでください。

警告

 電床マットにアイロンをかけたり、アイロン台の代わりにしないでください。

 ナフタリンなどの防虫剤と一緒に保管しないでください。

## 保守・点検に係る事項（共通）

### 注意事項

警告

 本体や付属品は安全に使用し、性能を維持するために定期的（1年を目安）に点検を受けましょう。特に導子類の付属品は消耗品ですので、定期的に交換してください。

使用状態・条件により異なりますので、販売店または製造販売元へお問い合わせください。

 本体のお手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

感電などの事故の原因となります。

警告

 本体や付属品を勝手に修理したり、改造したりしないでください。

故障かなと思ったら使用を中止し、買い求めの販売店または製造販売元へお問い合わせください。

 本体ケースは絶対に開けないでください。

内部は高電圧が発生しており、感電する恐れがあります。

# 正しく安全にお使いいただくために



3年以上使用した付属品による事故については、当社は責任を負いかねる場合があります。



本体及び付属品のお手入れに際しては、シンナー、ガソリン、灯油などの揮発油や磨き粉、熱湯、薬品類で拭かないでください。変色、変質の原因となります。  
アルコール、水、ぬるま湯または中性洗剤を含ませて、固く絞った布で拭いてください。

## 使用者による保守点検事項



機器及び付属品は使用に際し、正しく動作することを日常的に点検してください。



事前のチェックや点検などで不具合（付属品の絶縁：電源コードなどコード類のキズ、ひび割れ、断線のしかかり、電源プラグやコネクターの接続不良など）が見られた場合は必ず販売店または、製造販売元にご連絡ください。



しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常かつ安全に動作することを確認してください。

## 業者による保守点検事項



性能を維持し、安全に使用するため、定期的（1年を目安）にお求めいただいた販売店または製造販売元に「定期点検」を依頼してください。



消耗部品（付属品を含む）は定期的に変換し、付属品及び機器使用中の危険防止を図ってください。

## 保守・点検に係る事項（超短波）

### 注意事項



超短波導子は消耗品です。より安全にお使いいただくために、無理な使用は避け、丁寧に取り扱ってください。  
また、使用頻度、条件により異なります



が、ご家庭で通常の使用状態で、年1回は点検を受け、付属品は遅くとも3年以内で早めに交換してください。  
※ P.13「交換部品及び消耗品」を参照してください。

## 保守・点検に係る事項（電位）

### 注意事項



電位電床マットは消耗品です。より安全にお使いいただくために、無理な使用は避け、丁寧に取り扱ってください。  
また、使用頻度、条件により異なりますが、ご家庭で通常の使用状態で、年1回は点検を受け、付属品は遅くとも3年以内で早めに交換してください。  
※ P.13「交換部品及び消耗品」を参照してください。



アースバンドの汚れは、水または薄めた石けん水で生地を傷めないように手もみ洗いしてください（月に1度までとする）。石けん水で洗った場合はかぶれの恐れがあるので、よくすすいでください。洗った後は、水分をタオルで拭き取り、日陰干しでよく乾かしてください。  
直接日光にあたるとゴム部分が特に傷み、ボロボロになることがあります。

## 保守点検項目

項目	内容	方法
外観及び表示について	外観に損傷はないか、パネルは変形していないか、表示がちらついたりしていないか確認する。	目視による確認
操作	電源スイッチをONにし、正常に動作するか、不具合はないか確認する。	操作による確認
付属品	損傷部分はないか、コードに断線部分はないか確認する。	目視による確認

## 交換部品及び消耗品

名称	交換方法	交換時期
超短波導子	販売店または製造販売元に依頼	導子の使用時間が決められた時間を超えた場合 (※音声アナウンスにてお知らせ) (※使用積算時間によっては、3年未満で交換案内のアナウンスが流れることがあります)
電床マット		点検により劣化が認められたとき 購入から3年が目安
アースバンド		
アース接続コード		粘着力が弱まったと感じたとき
粘着パッド		
装着ベルト		
装着ベルトストッパー(グレー)		点検により劣化が認められたとき

## エラー (E1、E2) について

誤った使い方をした場合、タイマー表示部に「E1、E2」のエラーが表示されます。同時に“ピーピーピー”という警告音が鳴ります。E1の表示は故障ではありませんが、下記の対応をされてもエラー表示する場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店または製造販売元へお問い合わせください。

表示	主な状況	対応
E1	治療中導子のプラグが抜けた場合	導子のプラグを出力口に差し込み、治療を開始する操作をしてください。
	治療中異なる機能の導子が接続された場合	異なる導子のプラグを出力口から抜き、治療を開始する操作をしてください。
E2	本体に異常が考えられる。	電源を入れ直してください。それでも表示する場合は使用を中止し、販売店または製造販売元へご連絡ください。

### 粘着パッドの模倣品に対するご注意

安全に製品をご使用いただくために、当社で品質管理を実施しております純正の粘着パッドをご使用くださいますようお願い申し上げます。当社では模倣品が原因で発生した火傷事故・故障・その他の不具合などにつきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

本件については〈お客様センター〉までお問い合わせください。

〈お客様センター〉TEL: 048(254)1019 受付: 平日午前10時～午後5時30分(土・日・祝日休み)

※担当者の不在などで、当日のご対応ができない場合もございます。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

# スーパーひまわりの構成内容

本器を初めてご使用になる前に、以下の付属品が揃っているか必ずご確認ください。

## 本 体

※本体の各部名称とはたらきについてはP.16～19をご覧ください。



製品名	スーパーひまわり
定格電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	超短波 165W / 電位 12W
本体寸法(mm)	180 (幅) × 385 (奥行き) × 435 (高さ)
本体重量	約 7.0 kg

### ● 超短波

周波数	27.12MHz
超短波出力	最大 40W ± 30%
タイマー	最大 30分

### ● 電位

出力電圧	141V ± 20%
タイマー	最大 8時間
波高値	200V

## 標準付属品



オレンジ導子〈Sひまわり〉



オレンジ導子〈Sひまわり〉用  
カバー  
工場出荷時はオレンジ導子〈Sひまわり〉にセットされています。



ピンク導子〈Sひまわり〉



ピンク導子〈Sひまわり〉用  
カバー  
工場出荷時はピンク導子〈Sひまわり〉にセットされています。



電床マット〈L・薄緑〉



アースバンド



アース接続コード  
〈ホック型〉



アース接続コード  
〈白・ピン型〉



装着ベルト〈L・AW〉



装着ベルト  
ストッパー〈グレー〉



粘着パッド  
〈M・Aタイプ〉



付属品収納袋

## 別売オプション品



ピンク導子〈S・関節〉



ピンク導子〈肩〉



超短波スポット導子  
〈ハンドル付・Sひまわり〉



粘着パッド貼付台紙



粘着パッド  
〈L・Aタイプ〉



装着ベルト〈L〉



電床マット  
〈S・薄緑〉



局所導子〈肩用〉

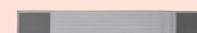
### 関節導子



関節導子〈腰・肘膝用〉



装着ベルト (BW タイプ)  
(80 × 900mm)



装着ベルト (BW タイプ)  
(80 × 600mm)

# 本体の各部名称とはたらき



本体正面

## 治療開始スイッチ

スイッチを押すと治療を開始します。導子を出力口に差し込んで、使用者を選択し、出力と時間を設定した後にこのスイッチを押してください。

パネル部分の説明はP.18~19を参照してください。

## 電源スイッチ

スイッチを押して、電源の「入」「切」を行います。電源が入るとタイマー表示が「0」分を表示します。

「入」の状態



「切」の状態



## 出力口

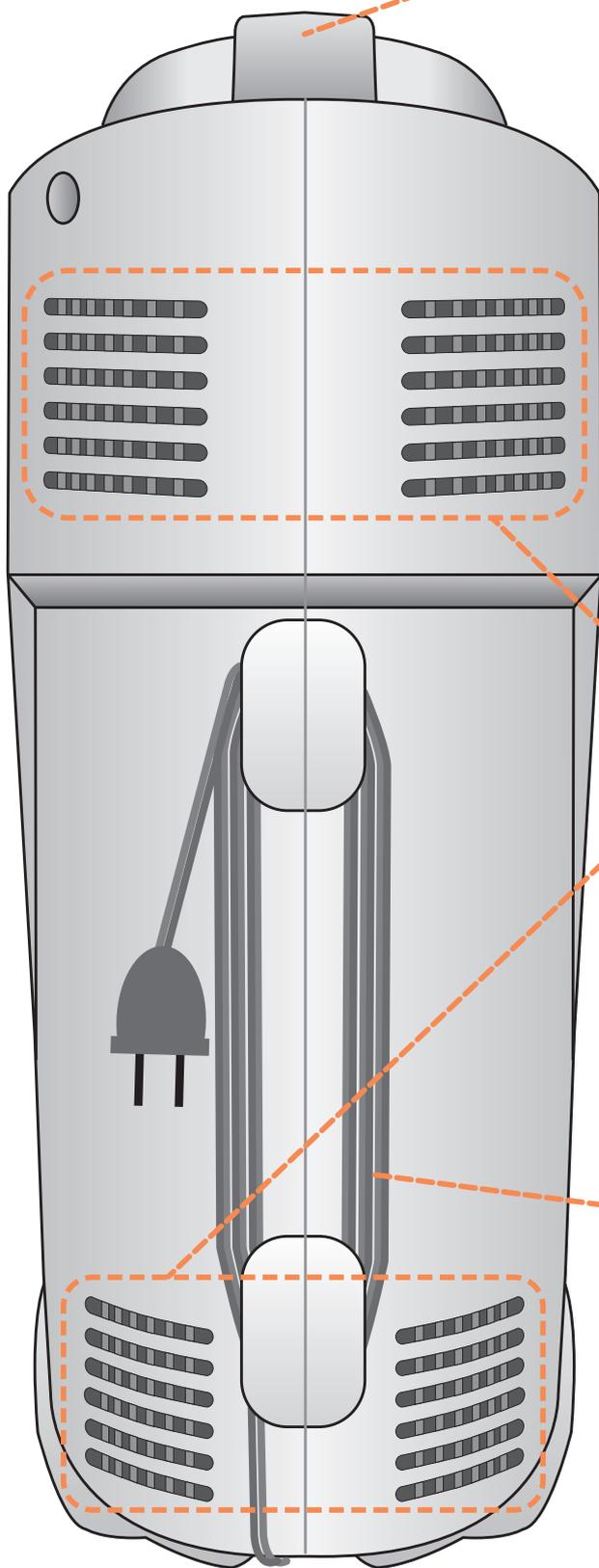
各導子のプラグを差し込みます。左は超短波導子（オレンジ導子、ピンク導子）を、右は負電荷の導子（マット、アース接続コード）を差し込んでください。

※プラグは確実に差し込んでください。

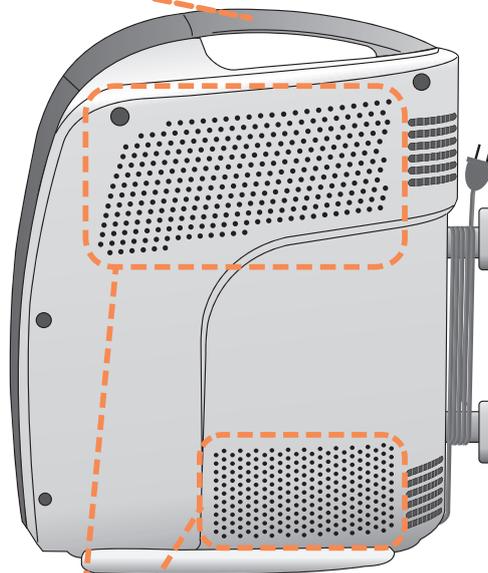
## 取手

移動の際はしっかり持って行ってください。

※取手の裏側に爪をひっかかないよう注意してください。



本体背面



本体側面

## 通気孔（背面・側面）

通気孔をふさがないでください。壁に寄せて使用しないでください。

※本体内部が熱をもち、故障や発火の原因となります。

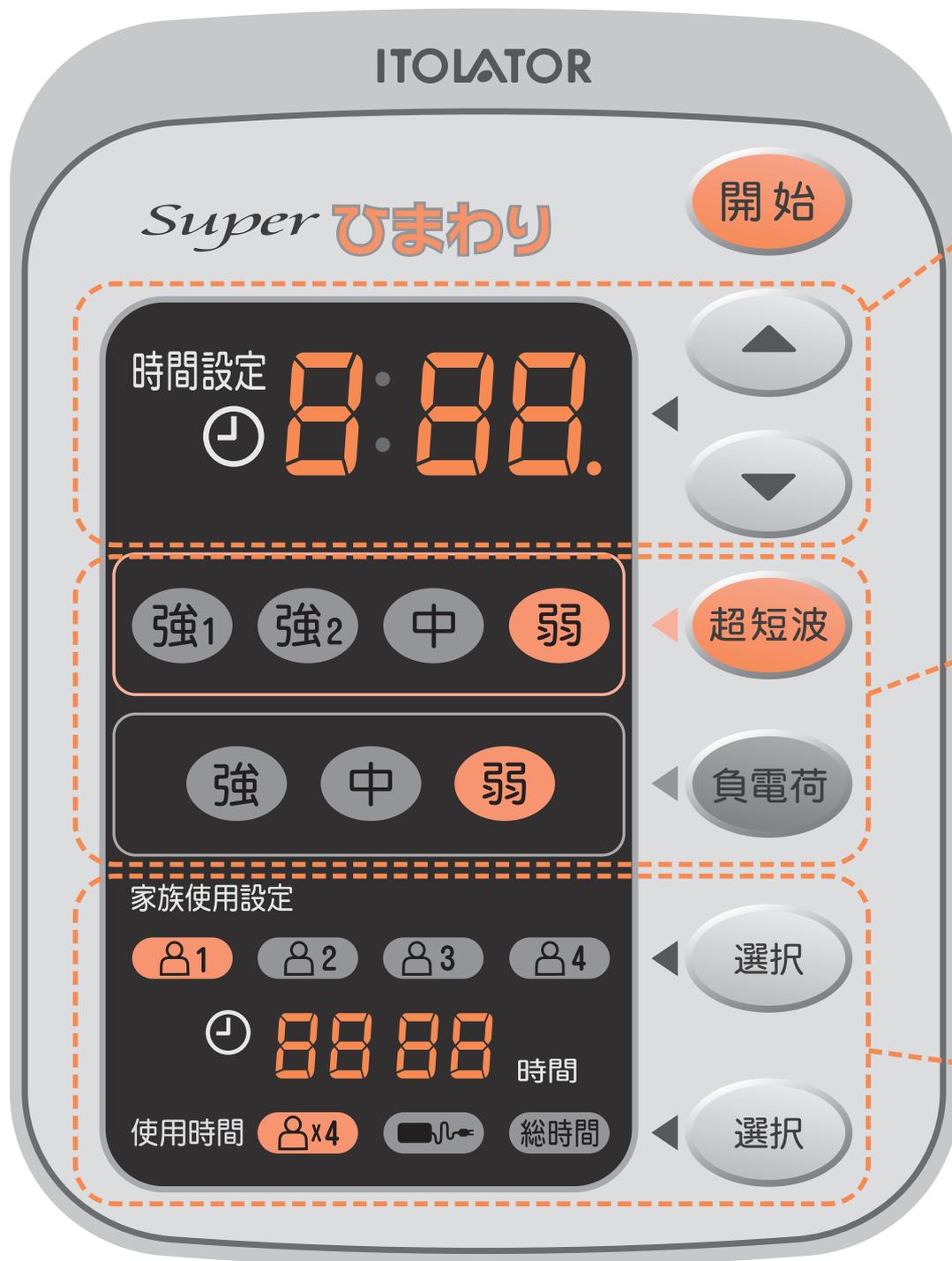
また、通気孔につくほこりは、定期的に掃除機などで吸い取ってください。

## 電源コード（プラグ）

家庭用コンセント（100V）にプラグを差し込みます。使用しないときは必ずコンセントから抜いてください。

※電源コードを本体背面のフックに巻き付ける際、コードを強く巻き付けると本体からのコード引き出し部やコード自体にストレスが加わり断線する恐れがあります。

# 本体の各部名称とはたらき



本体パネル

タイマー設定について



■タイマースイッチ

※2回目以降は、前回設定した使用時間が表示されます。

超短波

治療時間を変更する場合は、タイマースイッチを押し、5分・10分・15分・20分・25分・30分に設定することができます。

負電荷

治療時間を変更する場合は、タイマースイッチを押し、5分・10分・15分・20分・25分・30分・1時間・2時間・4時間・8時間に設定することができます。

■タイマー表示

1分ごとに数字が減少し、「治療の残り時間」を表示します。

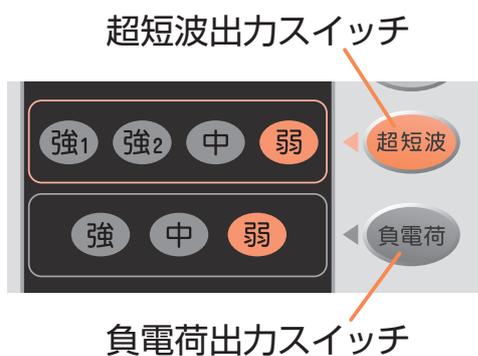
※0分表示のときは出力していません。

■エラー表示

異常が発生した場合、タイマー表示に「エラー (E1、E2)」が表示されます。

※詳しくはP.13をお読みください。

出力調節について



■出力スイッチ

超短波は「弱・中・強2・強1」から、負電荷は「弱・中・強」から出力を選びます。

■出力表示

出力スイッチで選んだ出力表示が順番に「点灯」します。

・超短波「弱 → 中 → 強2 → 強1 → 弱・・・」

・負電荷「弱 → 中 → 強 → 弱・・・」

2回目以降の治療は、使用者と接続された導子に従って前回使用した設定が表示されます。

家族使用設定について



■使用者表示

選択されている使用者ごとに使用時間を確認できます。現在の使用時間や導子の使用時間の目安にもなります。

■使用時間表示

接続されている導子、または使用者の使用時間を表示します。

■時間種類表示

👤x4 使用者ごとに超短波治療 / 負電荷治療の使用時間を表示します。表示する使用時間は接続されている導子により切り替わります。

🔌 接続されている導子の使用時間を表示します。

🕒 総時間 治療器の総使用時間を表示します。

■使用者設定スイッチ

使用者を選択します。4名分の使用時間が確認できます。

■使用時間確認スイッチ

表示する時間の種類を選択します。

# スーパーひまわりの主な特長

特長  
1

1 台で2種類の電子療法

- 超短波療法……電波の作用で身体の内側から温めます。
- 負電荷療法……マイナスの電子を身体に作用させます。

特長  
2

家族それぞれの治療時間がひと目で分かる

特長  
3

音声によるアナウンス

特長  
4

手の届きにくい背中も、  
超短波スポット導子でらくらく治療 ※別売オプション品

## スーパーひまわりの使用目的又は効果

使用目的：一般家庭で使用してください。

### 超短波

#### ■超短波による局所の温熱効果

- 疲労回復
- 血行をよくする
- 筋肉の疲れをとる
- 筋肉のこりをほぐす
- 神経痛、筋肉痛の痛みの緩解
- 胃腸の働きを活発にする

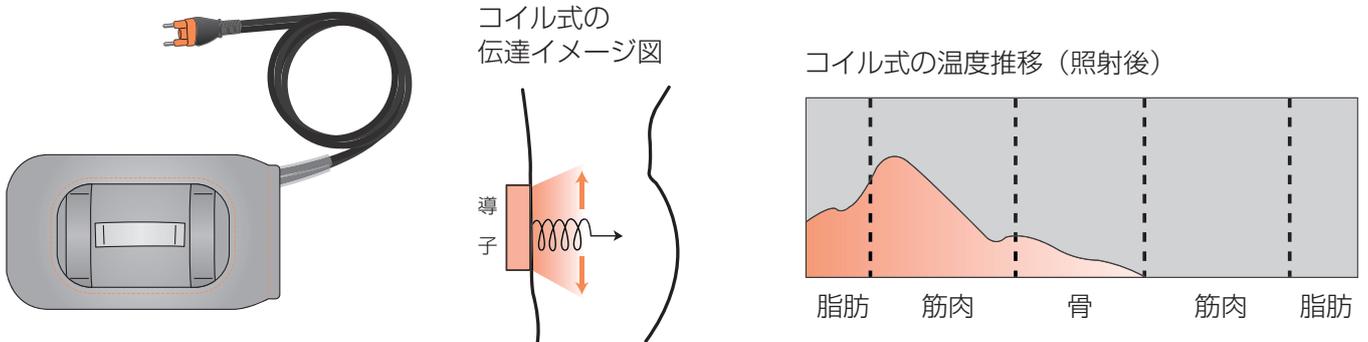
### 電位（負電荷）

- 頭痛の緩解
- 肩こりの緩解
- 不眠症の緩解
- 慢性便秘の緩解

## 2つの導子で目的に合った治療を行う「超短波」

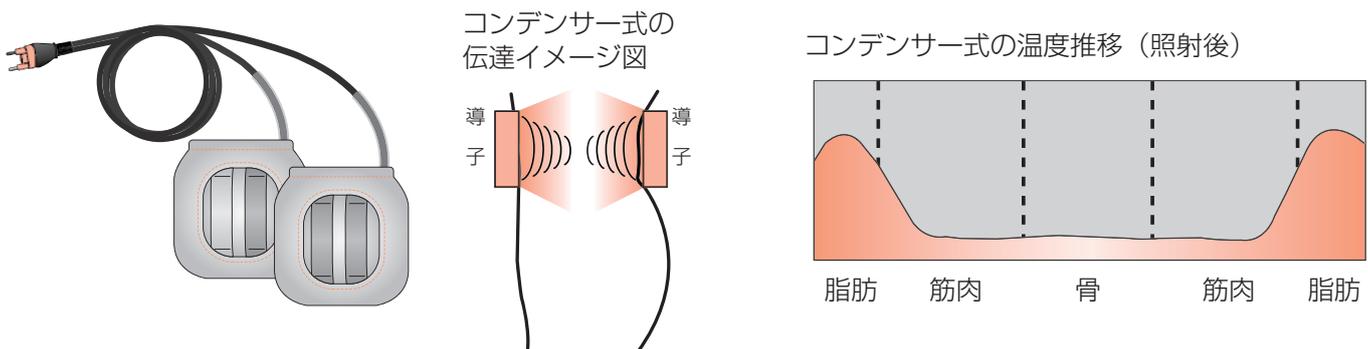
### オレンジ導子〈Sひまわり〉(コイル式)

コイル式は超短波のエネルギーが皮下脂肪組織層より、さらに深部の筋肉組織層へ作用します。(下イラスト参照) そのため、脂肪層に囲まれた胃や腸の働きを活発にするのに役立ちます。



### ピンク導子〈Sひまわり〉(コンデンサー式)

コンデンサー式は治療部位を挟んだり、並べて使う導子です。脂肪層の少ない肩や膝などの治療に役立ちます。



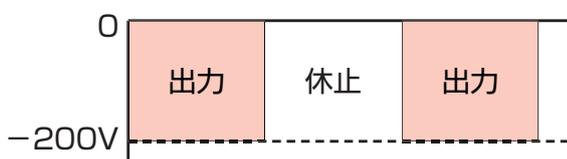
## パルス発振の「負電荷」

- パルス式は連続式と比べ、瞬間的に約2倍の負電荷エネルギーが発振されます。
- 高い出力ほど人体にマイナス電子が作用し、より高い治療効果が得られます。

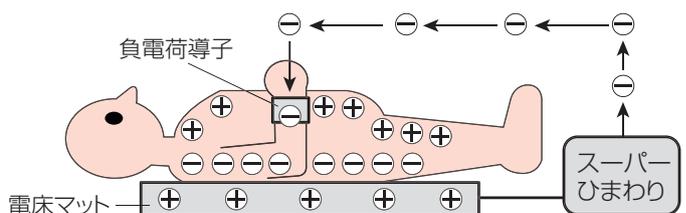
連続式



パルス式 (断続式)



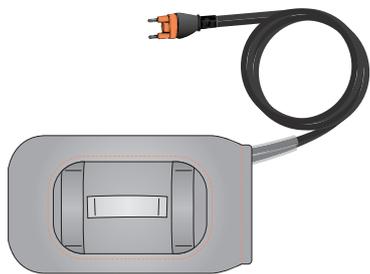
(マットを基準にした電位差です)



⊖の電子が⊕極に引き寄せられて作用します。

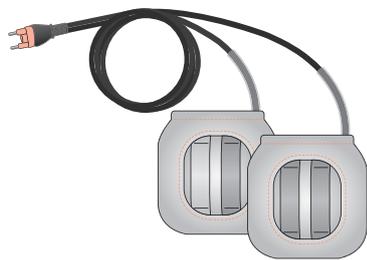
# 超短波 基本的な使用例

## 治療にあたって



**オレンジ導子〈S ひまわり〉(コイル式)**

超短波のエネルギーが皮下脂肪組織層より、さらに深部の筋肉組織層へ作用します。脂肪層に囲まれた胃や腸の働きを活発にするのに役立ちます。



**ピンク導子〈S ひまわり〉(コンデンサー式)**

治療部位を挟んで使用します。脂肪層の少ない肩や膝、足首などへの治療に役立ちます。

**別売オプション品**

※組み立て方法はP.30をご確認ください。



**超短波スポット導子〈ハンドル付・S ひまわり〉**

導子の先端を治療部位にあてて治療します。背中など手の届きづらい部位の治療に役立ちます。

## オレンジ導子〈S ひまわり〉(コイル式) の使用例

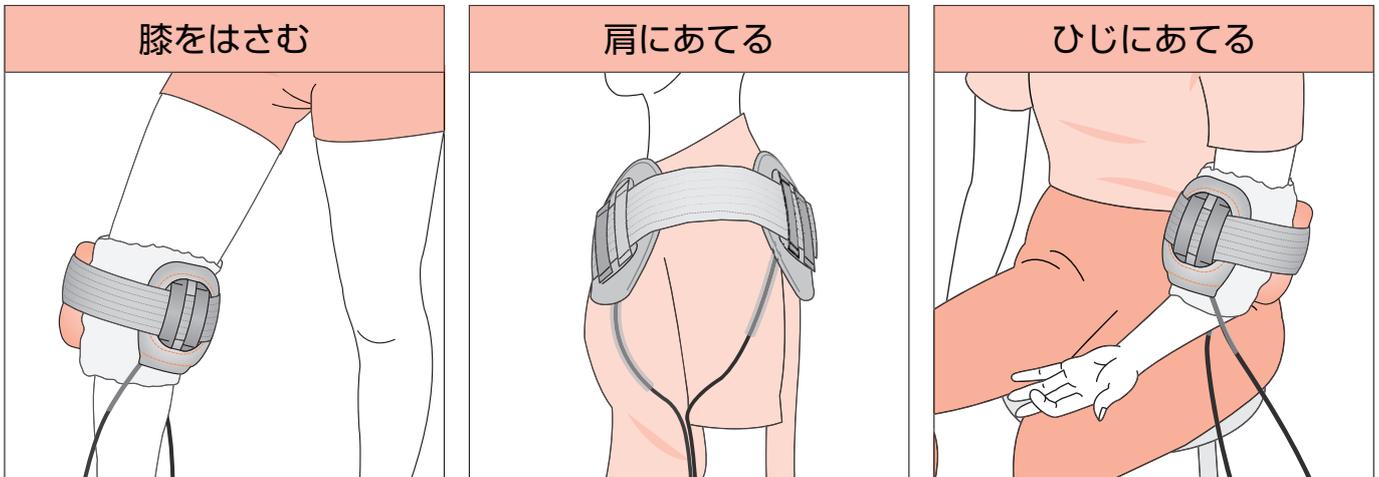
脂肪層に囲まれている腹部はオレンジ導子〈S ひまわり〉(コイル式) を使いましょう。

基本療法		
<p>あてる身体の部位は <b>へそ</b></p>	<p>あてる身体の部位は <b>背中 (ひじの高さ)</b></p>	<p>あてる身体の部位は <b>肝臓付近</b></p>
<p>あてる身体の部位は <b>腰</b></p>	<p>あてる身体の部位は <b>太腿</b></p>	<p>あてる身体の部位は <b>肩</b></p>

## ピンク導子〈S ひまわり〉（コンデンサー式）の使用例

脂肪層の少ない肩や膝などの部位はピンク導子〈S ひまわり〉（コンデンサー式）を使いましょう。

### 基本療法



## 超短波スポット導子〈ハンドル付・S ひまわり〉の使用例

背中など直接手の届かない部位は超短波スポット導子〈ハンドル付・S ひまわり〉を使いましょう。



### 導子を使用する際の警告

下記の点に注意して、正しく導子を使用してください。

- 超短波スポット導子の使用時は、必ずハンドルを持って治療してください。
- 出力時、ハンドル以外の部分には触らないでください。
- 導電性の衣類を着用して治療しないでください。
- 使い捨てカイロやネックレス、ベルトなどの金属類は身体から外してください。
- 導子は素肌の上から直接あてないでください。必ず乾いたタオルや服の上からあててください。
- (電位・高周波・負電荷を含む) 電床マットの上では、絶対に治療しないでください。
- 治療するときは皮膚の汗などを拭いてください。
- 濡れている導子は使用しないでください。
- 治療前にスイッチなどを操作し、治療器が正しく作

動するか確認してください。

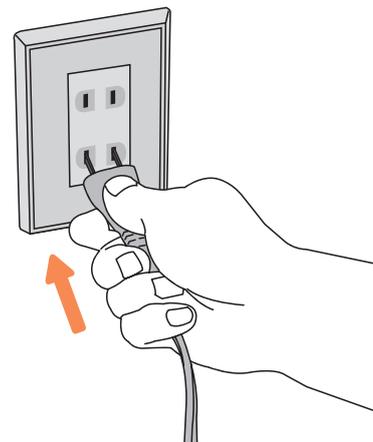
- 導子は必ず装着ベルトで固定してください。
- 治療中に超短波導子やコードに触れないでください。導子などに触れる場合は、一度電源を切ってください。
- 厚手の衣服やタオルを厚めにして使用した場合、温感が感じにくい場合があります。
- 足首や膝を合わせた状態で導子をあてる治療は、絶対にしないでください。タオルなどをあてがっても左右の足が触れることがあり、接触部に火傷を起す可能性があります。



## 超短波 ご使用前の準備

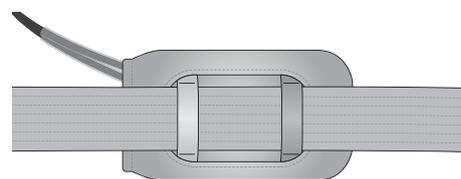
### 1 電源プラグを差し込む

- 電源スイッチが「切」になっていることを確認します。
- 電源コードのプラグを100Vコンセントに差し込みます。

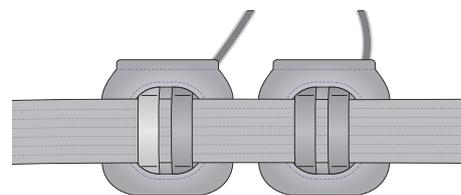


### 2 導子にベルトをセットする (導子カバー、装着ベルト〈L・AW〉)

- 治療部位によって、オレンジ導子〈Sひまわり〉またはピンク導子〈Sひまわり〉を選びます。
- 各導子に装着ベルト〈L・AW〉を通します。



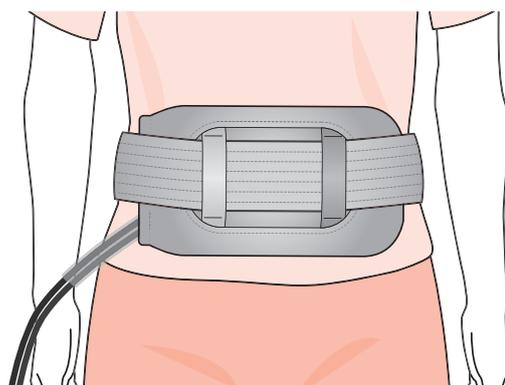
オレンジ導子〈Sひまわり〉



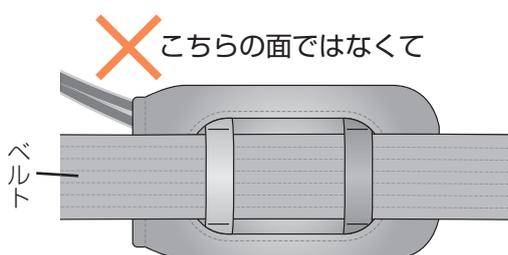
ピンク導子〈Sひまわり〉

### 3 治療部位にあてる

- 導子はベルト通しのついていない面を身体にあてます。



※身体にあてる面は

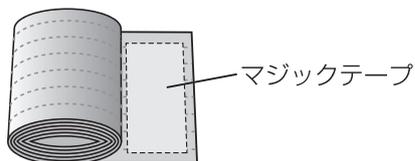


こちらの面ではなくて



こちらの面を使います。

- マジックテープで装着ベルト〈L・AW〉を固定します。



## 4 導子のプラグを差し込む

- 使用する導子のプラグを超短波出力口に確実に差し込みます。



### 導子カバーのセット方法

- ①導子カバーの開いた口から導子を入れます。導子のベルト通しがカバーの穴から見える向きにセットします。

- ②奥まできちんと入れた状態で、導子のベルト通しが確認できればセット完了です。

※セットの仕方はオレンジ導子〈Sひまわり〉もピンク導子〈Sひまわり〉も同じです。

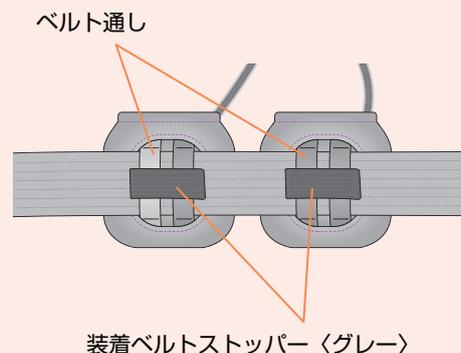


※別売オプション品 超短波スポット導子〈ハンドル付・Sひまわり〉の組み立て方法はP.30をご覧ください。

### ? 導子を患部にあてづらい場合

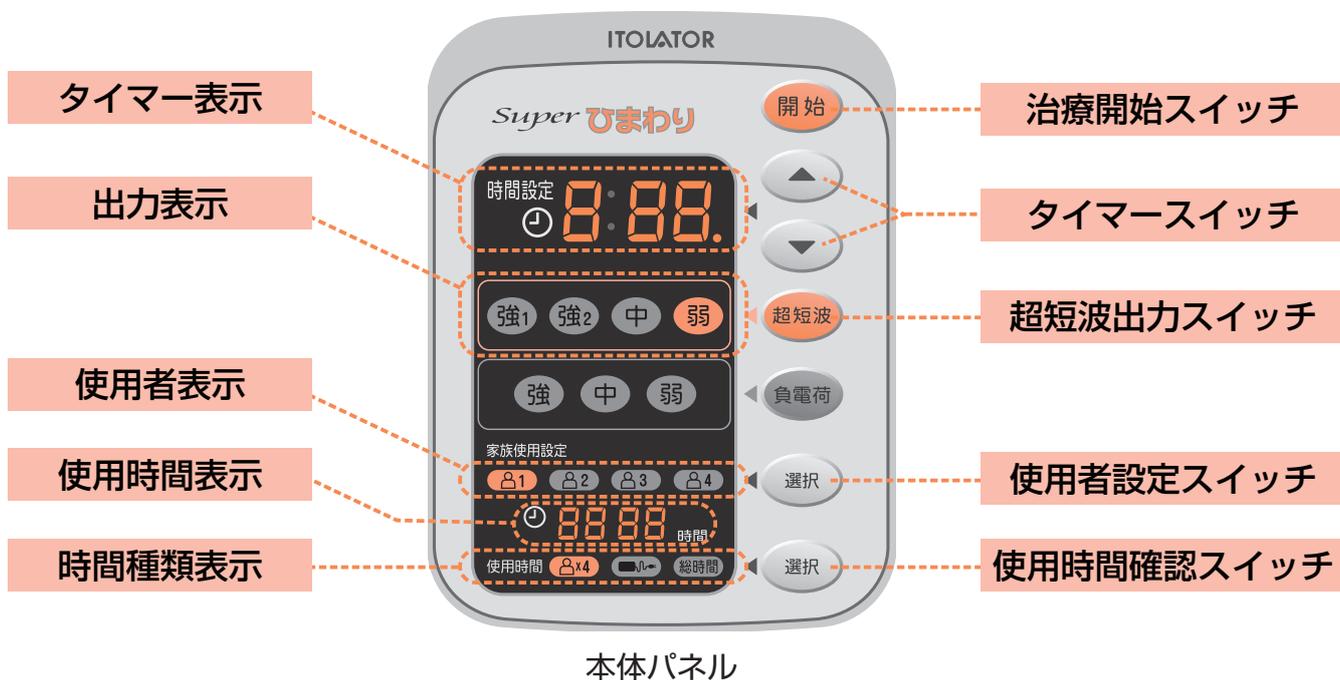
導子を患部にあてづらい場合は、装着ベルトストッパー〈グレー〉を使うと導子が固定され、ずれずに便利です。

- ①導子にベルトをセットします。
- ②ベルト通しの上から装着ベルトストッパー〈グレー〉を貼り付け、ベルトが動かないように固定して患部へ導子をあてます。



ピンク導子〈Sひまわり〉の場合

# 超短波 本体の操作方法



## 1 電源を入れる

- 電源スイッチをしっかりと押して ( ), 電源を入れます。
- 電源を入れると全てのLEDが点灯し、ブザー音が鳴ります。

※電源スイッチが「入」になっていることを確認してください。



## 2 「0」を表示する

- LED点灯後、タイマー表示に「0」が表示されます。

※2回目以降は、前回設定した使用時間が表示されます。

※導子の使用時間が決められた時間を超えている場合は、表示が点滅し、音声で「導子の使用期限が来ました。新しい導子に交換してください」のアナウンスが流れます (※P.13「交換部品及び消耗品」を参照してください)。

※この時点ではタイマーの設定はできません。



### 3 使用者を選択する

- 使用者設定スイッチで使用者を選びます。
- 選んだ使用者の使用者表示が点灯します。

※ 使用時間表示に選んだ使用者の使用時間が表示されます。



### 4 出力を選択する

- 超短波出力スイッチで超短波の出力（弱・中・強2・強1）を選びます。
- ※ 強1と強2では治療時のプログラムが異なります。

- 選んだ出力の出力表示が点灯します。

※ 挿入されている導子と異なる治療モードの出力スイッチを押しした場合「導子が異なります。治療モードを変更するか、導子を交換してください」のアナウンスが流れます。



### 5 治療時間を設定する

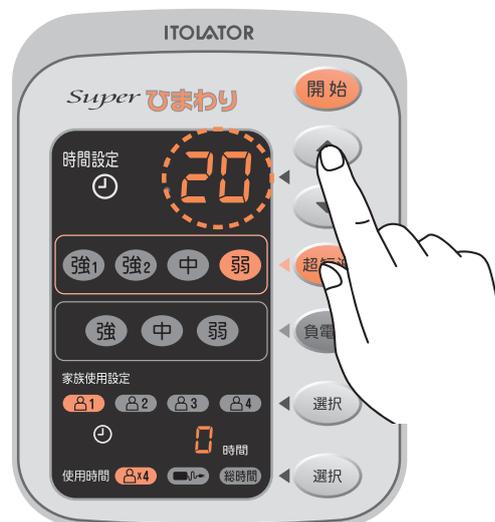
- タイマースイッチで、治療時間を設定します。

- ▲ を押しとタイマー表示が5分ごとに変ります。

5分→10分→15分→20分→25分→30分

- ▼ を押しとタイマー表示が5分ごとに変ります。

30分→25分→20分→15分→10分→5分



## 超短波 本体の操作方法 (つづき)

### ⑥ 治療を開始する

- 治療開始スイッチを押し、治療を開始します。

※治療開始スイッチを押すと、音声で「超短波治療を開始します。電位治療用電床の上では使用しないでください」のアナウンスが流れます。

※治療中はタイマー表示の●が点滅します。

※注意：治療中にタイマー表示が0分になるとブザー音が鳴り、出力が停止します。数秒後、前回の治療設定が自動で設定されます。続けて使用する場合は、再度、治療開始スイッチを押してください。

※定められた治療時間を超えて使用しないでください。

※使用中に本体から多少の音が出ますが、異常ではありません。



### 設定時間の変更

- 出力中にタイマースイッチを押すことで時間を変更できます。  
治療時間を延ばしたい場合は ▲ を、縮めたい場合は ▼ を押してください。

### 中断と再開について

- 治療を中断する場合は、▼ を押して、時間設定を「0」分にします。
- 治療を再開する場合は、本体の操作方法「⑥ 治療を開始する」の操作に従ってください。
- 治療を再設定する場合は、本体の操作方法「③ 使用者を選択する」に戻り操作に従ってください。

⚠ **中断時の注意** 長時間の中断は必ず電源を切ってください。

### ⚠ 注意

- 導子の使用時間が、定められた使用時間を超えている場合は導子を交換してください（※音声アナウンスが流れます）。
- 使用前にスイッチなどを操作し、治療器が正しく作動することを確認してください。
- 濡れた手でコード類の抜き差しをしないでください。
- コード類はプラグを持って抜き差ししてください。
- 治療をしながら電話（携帯電話を含む）を使用しないでください。また、使用中の電話機の近くで治療しないでください。
- 他の電気製品の近くでは異常を起こす恐れがあるので使用しないでください。
- 使用中、プラグの抜き差しをしないでください。
- 他の人や金属類に触れないでください。
- 温感が高いと感じたら我慢せずに使用を中止してください。
- 汗をかいたら拭き取ってください。
- 本器や体に異常を感じたら使用を中止してください。
- 使用中に超短波導子やコードに触れないでください。導子などに触れる場合は、一度電源を切ってください。

※詳しくはP.2～13「正しく安全にお使いいただくために」をご覧ください。

## エラー E1 について

治療中に導子が抜けたり、異なる機能の導子が接続された場合“ピーピーピー”と警告音が鳴り「E1」が表示されます。出力口に確実に差し込んでください。

※詳しくは、P.13「エラー（E1、E2）について」をお読みください。

## 7 治療の終了と延長

- タイマーが0分になると、ブザー音が鳴り出力が自動的に切れます。
- 治療を引き続き行う場合は、本体の操作方法「⑥ 治療を開始する」に戻り、手順に従ってください。
- 治療を終了する場合は、電源スイッチをしっかりと押して（の状態）、電源を切ります。

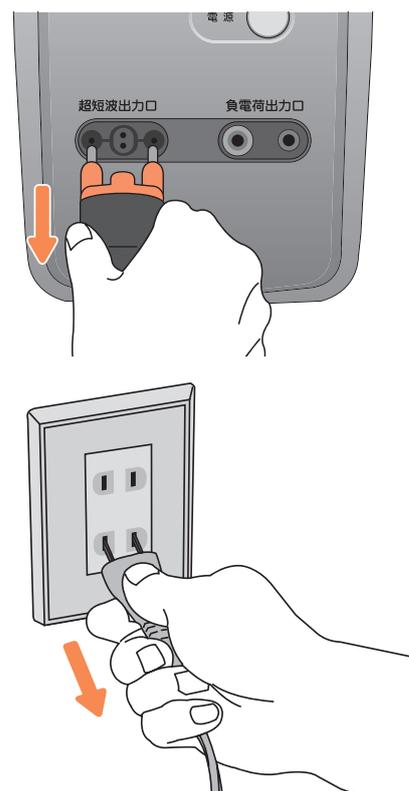
※治療中ならびに治療の終了後も、本体内部を冷却するファンがまわります。ファンは治療の終了後約3分で止まります。



## 8 整理と保管

- 電源が切れていることを確認してから使用した導子を出力口から抜き、電源コードプラグをコンセントから抜きます。
- 次の使用に支障がないように、本体及び付属品を清掃にし、整理保管してください。

※付属品の収納には付属品収納袋をご使用ください。



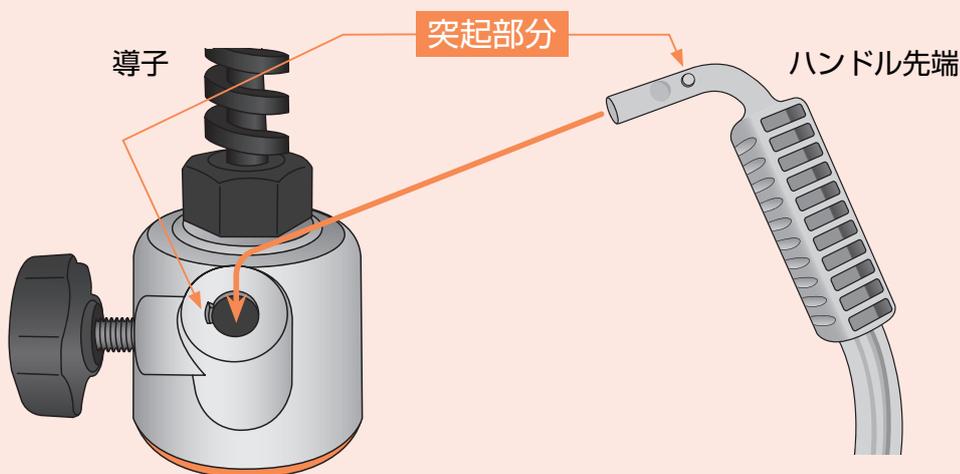
別売オプション品

## 超短波スポット導子〈ハンドル付・S ひまわり〉の組み立て方法

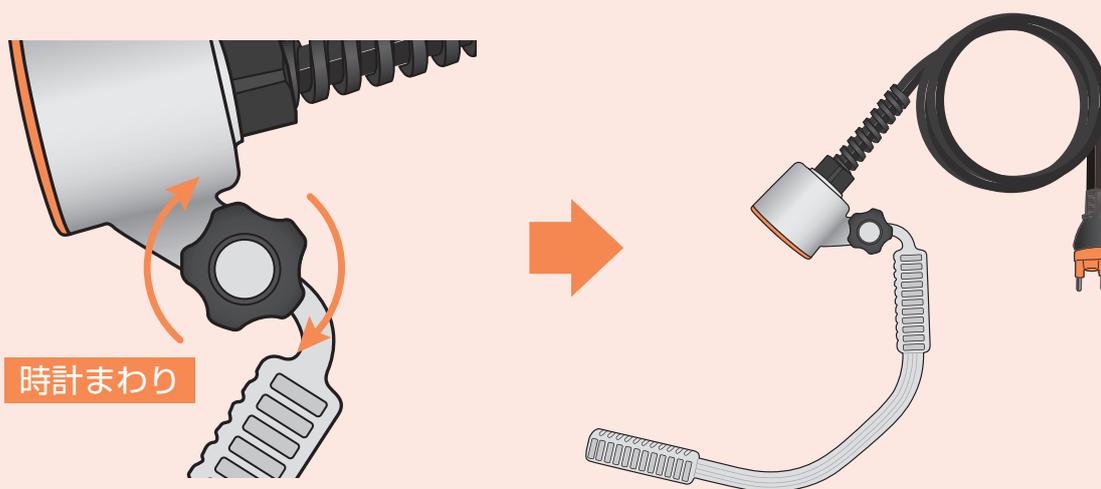
- 導子部分とハンドル接続部分を組み合わせます。
- すぐに外れないよう強めに締めてください。

### 1 スポット導子にハンドルをセットする

※下図を参考に、導子側の突起とハンドル先端の突起部分を合わせ、奥まで差し込んでください。



### 2 スポット導子のナットを時計まわりに締めます



- ※ナットの締めすぎは破損の原因となります。
- ※治療を終える場合は、逆の手順で取り外してください。
- ※接続部の破損を防ぐため、取り外して保管してください。

# 負電荷 基本的な使用例

## 治療にあたって

### 全身治療



電床マット〈L・薄緑〉



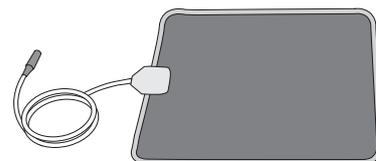
アースバンド



アース接続コード〈フック型〉

布団やベッドでくつろぎながら治療する場合は電床マット〈L・薄緑〉を使用してください。

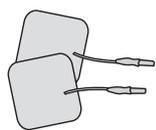
### 別売オプション品



電床マット〈S・薄緑〉

イスなどに座りながら治療する場合は電床マット〈S・薄緑〉を使用してください。

### 局所治療



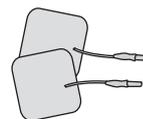
粘着パッド

### 別売オプション品を使つての局所治療

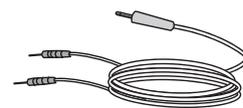


局所導子〈肩用〉

+



粘着パッド



アース接続コード〈白・ピン型〉

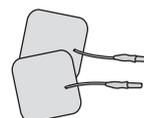


アース接続コード〈白・ピン型〉

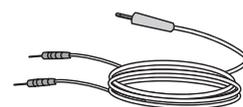


関節導子〈腰・肘膝用〉

+



粘着パッド

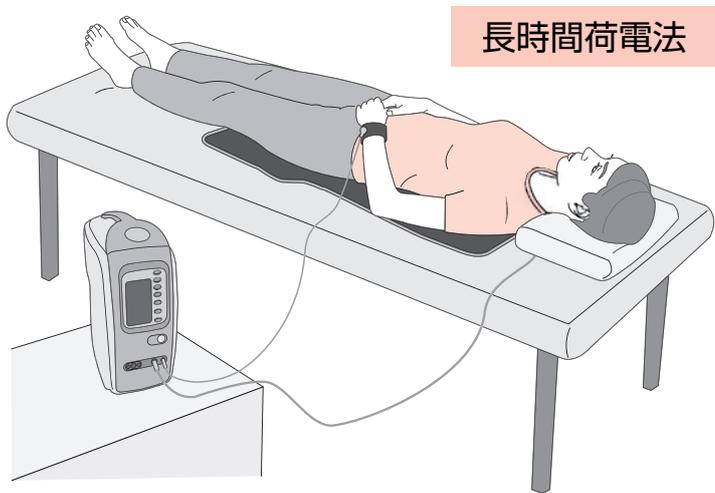


アース接続コード〈白・ピン型〉

粘着パッドと導子を使用することで、エネルギーが局部により集中して作用し、効率よく治療効果を引き出します。

# 負電荷 基本的な使用例 (つづき)

## 全身治療の治療例

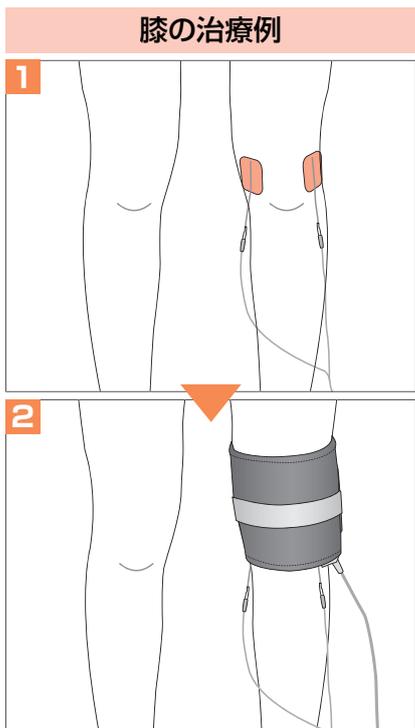
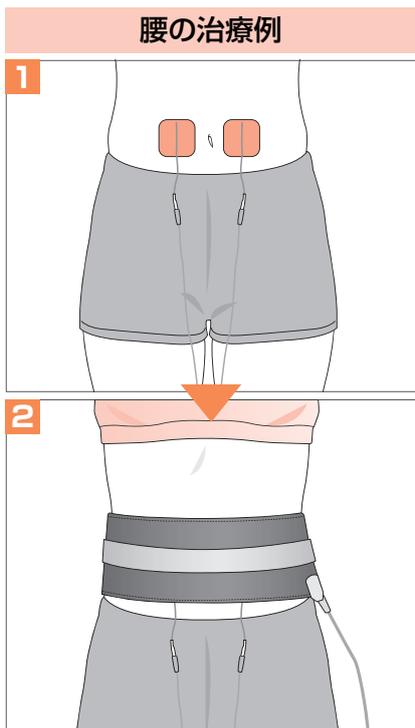
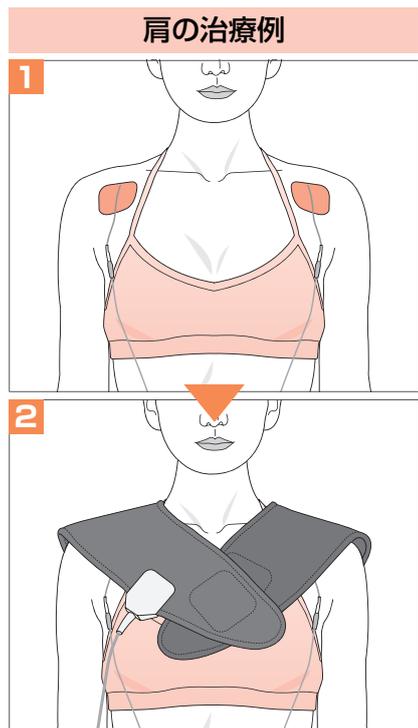


出力：弱～中（初めの使用は弱く）  
 時間：2～8時間（初めの使用は短く、30分から）  
 横になりながら治療する場合は、身体の下に電床マットを直接敷かず、必ず電床マットの上にシーツなどを敷いてください。  
 ※イラストは治療法をわかりやすく説明するため、電床マットの上にシーツは敷いていません。

出力：中（初めの使用は弱く）  
 時間：1時間以内

## 局所治療の治療例

- 1 患部に粘着パッドを貼り付けます。  
 イラストのように患部、または患部をはさむように（膝）、粘着パッドを貼り付けてください。
- 2 その上から装着ベルトを巻き付け、粘着パッドが取れないように固定します。



※別売オプション品の関節導子〈腰・肘膝用〉を使用する場合は、緑色の面を患部にあてるようにしてください。

## 電床マット設置例【全身治療】

下記の例を参考に敷いてください。 \*電床マットは、薄緑色の面を上にして敷きます。

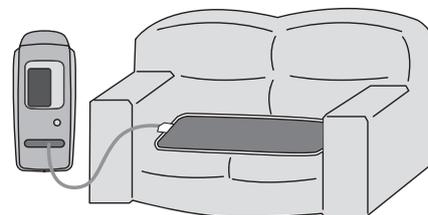
### イスの場合

金属製のイスを使用すると、電気エネルギーが逃げてしまいます。木製のイスを使用してください。



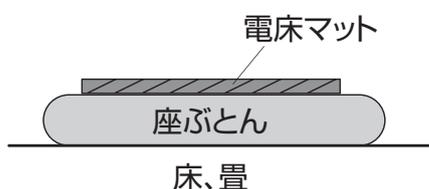
### ソファの場合

表面が布、皮革やビニール製品以外の上では使用しないでください。



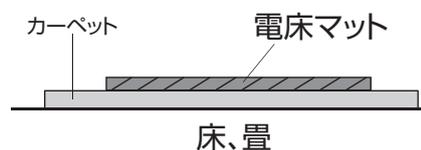
### 床・畳の場合

座布団の上に敷いてください。



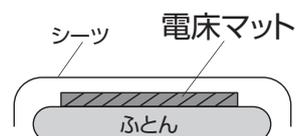
### カーペットの場合

電気カーペットの上では絶対使用しないでください。毛足の長いカーペットも避けてください。



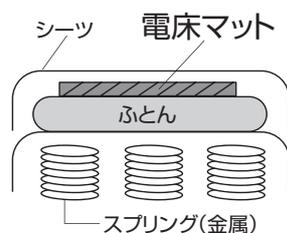
### 布団の場合

布団とシーツの間に敷いてください。



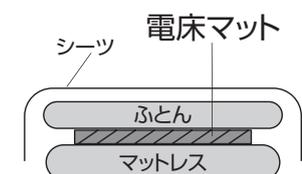
### ベッドの場合

布団とシーツの間に敷いてください。布団や厚手のベッドパッドを敷いてください。



### マットレスの場合

ゴワゴワと異物感のある場合、布団とマットレスの間に敷いてください。



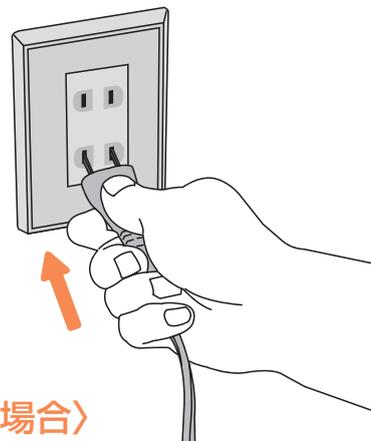
## ⚠ 警告 電床マットについて

- 布団に敷く場合は乾燥した布団を使用してください。
- 電気を通しやすいもの（金属製のもの、湿気のあるもの）の上や下には敷かないでください。
- 身体から金属製のもの（貴金属やアクセサリーなど）を外してください。
- 電床マットの上では絶対に超短波治療器を使用しないでください。
- 横になりながら使用する場合は身体の下に電床マットを直接敷かず、必ず電床マットの上にシーツなどを敷いてください。また、汗などで身体が濡れている場合は、よく拭いてからご使用ください。長時間湿気のかもった状態が続きますと、火傷や事故の原因となります。

# 負電荷 ご使用前の準備

## 1 電源プラグを差し込む

- 電源スイッチが「切」になっていることを確認します。



## 2 電床マットを治療する場所に敷く 〈全身治療の場合〉

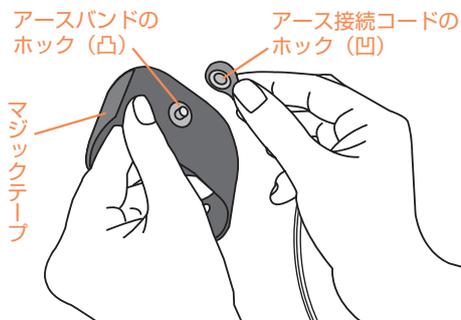
- 電床マットの設置例はP.33を参照してください。

## 3 導子をセットする

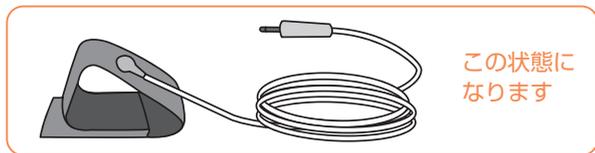
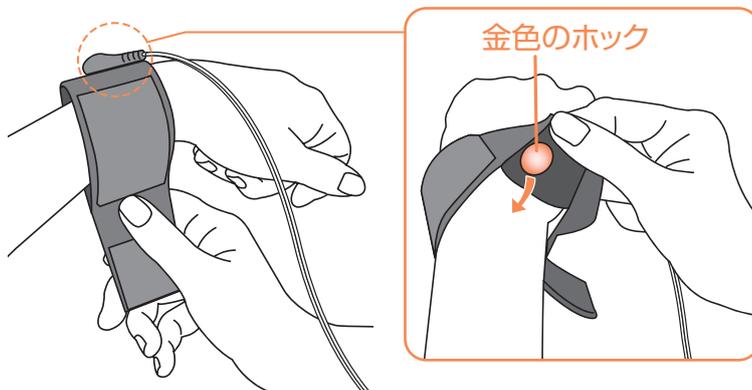
### 全身治療



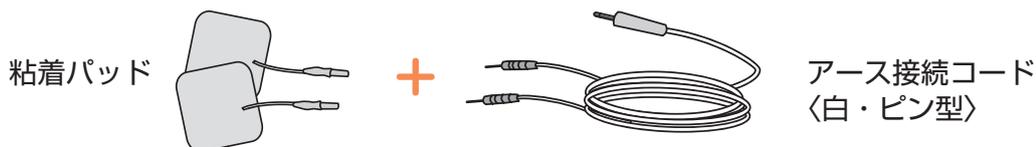
- ①アース接続コード〈フック型〉とアースバンドを接続します。フックの凸と凹を合わせます。



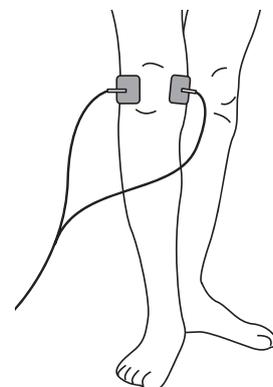
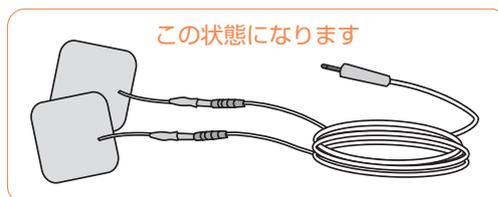
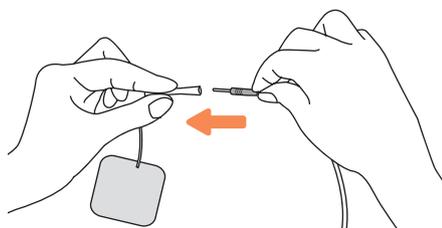
- ②アースバンドは手首にセットし、マジックテープで固定します。その際、内側にある金色のフックが肌にあたるようにセットします。



## 局所治療

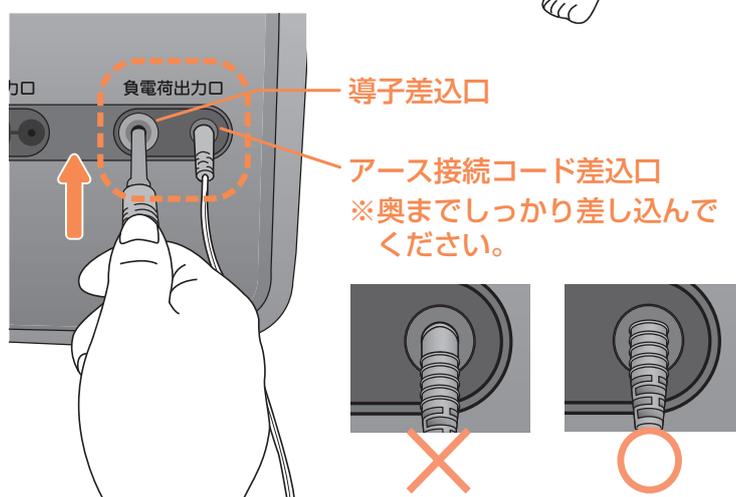
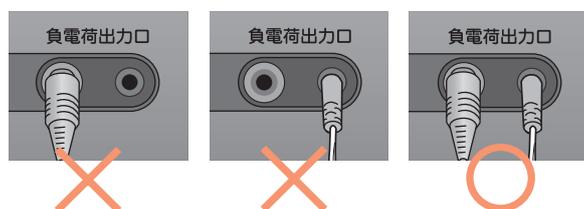


- ①アース接続コード〈白・ピン型〉に粘着パッドを2枚接続します。 ②患部に粘着パッドを貼り付けます。



## 4 各プラグを差し込む

- 電床マットと各プラグを右の図のように「負電荷出力口」にそれぞれ差し込みます。

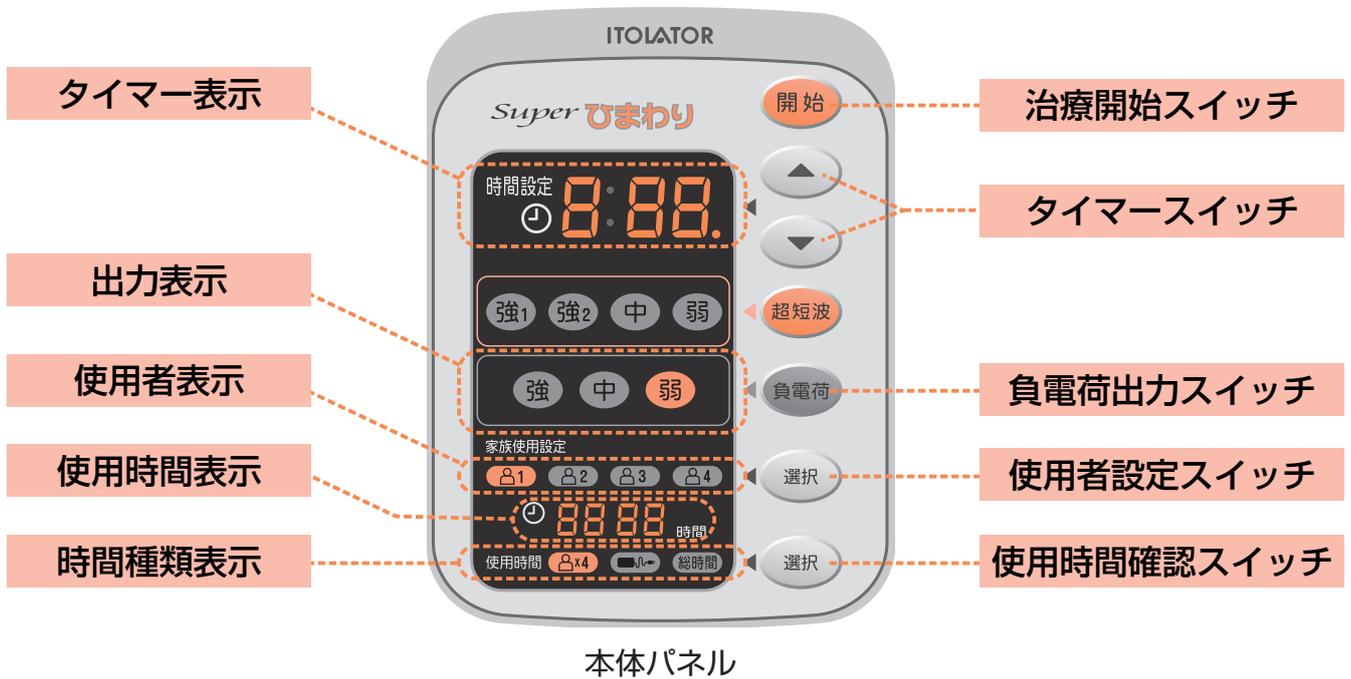


## ⚠ 危険 粘着パッドについて

- 湿布や絆創膏などの粘着物によりかぶれやすい方は注意してご使用ください。かぶれたり、赤くなったりすることがあります。
- 傷のある皮膚には使用しないでください。
- 皮膚が荒れたり、火傷・炎症などを起こした際は直ちに使用を中止してください。
- 粘着パッドを使用した際に、発疹・発赤・かゆみなどが現れたときは直ちに使用を中止し、販売元にご相談ください。
- 粘着パッドを使用するとき、金属物（ネックレス、ベルト、時計など）と重なったり、触れたりしないよう注意して貼ってください。また、粘着パッドは互いに重ならないように貼ってください。
- 粘着パッドを貼り付ける際には、必ず皮膚に密着させてください。貼った部分に隙間があると刺激が強くなり痛みを感じ、場合によっては火傷などの皮膚障害を起こすおそれがあります。
- 皮膚にローション、オイルなど化粧品が残っている場合、粘着パッドが付きませんので皮膚を石鹸でよく洗い完全に乾かしてから貼り付けてください。

- 粘着パッドを透明フィルムや皮膚から剥がすときは、パッドの端を摘んでゆっくり持ち上げてください。コード部を持って剥がすようなことはしないでください。
- 粘着パッドを皮膚から剥がすときは、必ず本体の電源スイッチを切ってください。
- 粘着パッドの使用後は元の透明フィルムに戻し袋に入れ、室温で保存してください。
- 粘着パッドの袋に使用期限が表示してあります。期限切れの粘着パッドは使用しないでください。
- 粘着パッドは消耗品です。粘着力が低下しましたら交換してください。
- 使用期限の切れたものや、粘着力が低下した粘着パッドをそのまま使用したり、テープ・バンド・下着などで固定して使用しても、適切な効果が得られないばかりでなく、急激に強い刺激がかかったり、場合によっては火傷などの皮膚障害を起こすおそれがありますので、おやめください。
- 安全に製品をご使用いただくために、製造元で品質管理を実施しております。純正の粘着パッドをご使用ください。模倣品の使用が原因で発生した火傷事故・故障・その他の不具合などにつきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

# 負電荷 本体の操作方法



## 1 電源を入れる

- 電源スイッチをしっかりと押して (  ), 電源を入れます。
- 電源を入れると全てのLEDが点灯し、ブザー音が鳴ります。

※電源スイッチが「入」になっていることを確認してください。



## 2 「0」を表示する

- LED点灯後、タイマー表示に「0」が表示されます。

※2回目以降は、前回設定した使用時間が表示されます。

※導子の使用時間が決められた時間を超えている場合は、表示が点滅し、音声で「導子の使用期限が来ました。新しい導子に交換してください」のアナウンスが流れます (※P.13「交換部品及び消耗品」を参照してください)。

※この時点ではタイマーの設定はできません。



### 3 使用者を選択する

- 使用者設定スイッチで使用者を選びます。
- 選んだ使用者の使用者表示が点灯します。

※ 使用時間表示に選んだ使用者の使用時間が表示されます。



### 4 出力を選択する

- 負電荷出力スイッチで負電荷の出力（弱・中・強）を選びます。
- 選んだ出力の出力表示が点灯します。

※ 挿入されている導子と異なる治療モードの出力スイッチを押しした場合「導子が異なっています。治療モードを変更するか、導子を交換してください」のアナウンスが流れます。



### 5 治療時間を設定する

- タイマースイッチで、治療時間を設定します。

▲ を押しとタイマー表示が変わります。

5分→10分→15分→20分→25分→30分  
→1時間→2時間→4時間→8時間

▼ を押しとタイマー表示が変わります。

8時間→4時間→2時間→1時間→30分→25分  
→20分→15分→10分→5分



## 負電荷 本体の操作方法 (つづき)

### 6 治療を開始する

- 治療開始スイッチを押し、治療を開始します。

※治療開始スイッチを押すと、音声で「負電荷治療を開始します。」のアナウンスが流れます。

※治療中はタイマー表示の●が点滅します。

※注意：治療中にタイマー表示が0分になるとブザー音が鳴り、出力が停止します。数秒後、前回の治療設定が自動で設定されます。続けて使用する場合は、再度、治療開始スイッチを押してください。

※定められた治療時間を超えて使用しないでください。



### 設定時間の変更

- 出力中にタイマースイッチを押すことで時間を変更できます。

治療時間を延ばしたい場合は ▲ を、縮めたい場合は ▼ を押してください。

### 中断と再開について

- 治療を中断する場合は、▼ を押して、時間設定を「0」分にします。
- 治療を再開する場合は、本体の操作方法「⑥ 治療を開始する」の操作に従ってください。
- 治療を再設定する場合は、本体の操作方法「③ 使用者を選択する」に戻り操作に従ってください。

⚠ **中断時の注意** 長時間の中断は必ず電源を切ってください。

### 操作パネルの明るさを調整する

- 負電荷出力中に治療開始スイッチを押すと操作パネルの照度を下げることができます。照度が下がった状態からいずれかのスイッチを押すと元の照度に戻ります。

### ⚠ 注意

- 導子の使用時間が、定められた使用時間を超えている場合は導子を交換してください(※音声アナウンスが流れます)。
- 使用前にスイッチなどを操作し、治療器が正しく作動することを確認してください。
- 濡れた手でコード類の抜き差しをしないでください。
- コード類はプラグを持って抜き差ししてください。
- 治療をしながら電話(携帯電話を含む)を使用しないでください。また、使用中の電話機の近くで治療しないでください。
- 他の電気製品の近くでは異常を起こす恐れがあるので使用しないでください。
- 使用中、プラグの抜き差しをしないでください。
- 他の人や金属類に触れないでください。
- 温感が高いと感じたら我慢せずに使用を中止してください。
- 汗をかいたら拭き取ってください。
- 本器や身体に異常を感じたら使用を中止してください。
- 使用中に超短波導子やコードに触れないでください。導子などに触れる場合は、一度電源を切ってください。

※詳しくはP.2~13「正しく安全にお使いいただくために」をご覧ください。

## エラー E1 について

治療中に導子が抜けたり、異なる機能の導子が接続された場合“ピーピーピー”と警告音が鳴り「E1」が表示されます。出力口に確実に差し込んでください。

※詳しくは、P.13「エラー（E1、E2）について」をお読みください。

## 7 治療の終了と延長

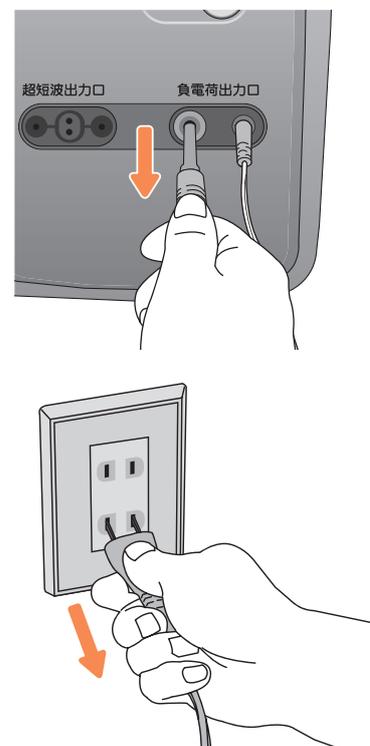
- タイマーが0分になると、ブザー音が鳴り出力が自動的に切れます。
- 治療を引き続き行う場合は、本体の操作方法「⑥ 治療を開始する」に戻り、手順に従ってください。
- 治療を終了する場合は、電源スイッチをしっかりと押して（の状態）、電源を切ります。



## 8 整理と保管

- 電源が切れていることを確認してから使用した導子を出力口から抜き、電源コードプラグをコンセントから抜きます。
- 次の使用に支障がないように、本体及び付属品を清掃にし、整理保管してください。

※付属品の収納には付属品収納袋をご使用ください。



# こんなときどうしたらいいの？

## 音量を調節したい

- ①導子を出力口に差さない状態で電源を入れます。
- ②治療開始スイッチを押しながら ▲ ▼ で音量を4段階に調節することができます。

※工場出荷時は音量は「大」に設定されています。  
 ※エラー音、音声アナウンス（警告）は「無音」に設定されている状態でも「小」音量で鳴ります。

●設定した音量を変える場合は①から再度設定を行ってください。



内容		音量			
音声種類	出力音	大	中	小	無音
操作 / 無効操作音	"ピッ / ピッピッ"	🔊	🔊	🔊	✗
治療終了音	"ピッピッピッ"	🔊	🔊	🔊	✗
音声アナウンス（負電荷治療）	"負電荷治療を開始します"	🔊	🔊	🔊	✗
エラー音	"ピーピーピー"	🔊	🔊	🔊	🔊
音声アナウンス（警告）	* 超短波治療を開始します。電位治療用の電床の上では使用しないでください（超短波治療開始時）* * 導子が異なっています。治療モードを変更するか、導子を交換してください（挿入導子と選択した治療が異なる場合）* * 導子の使用期限が来ました。新しい導子に交換してください（導子が使用期限を超えたとき）*	🔊	🔊	🔊	🔊

## 電子療法について

電気生理学に基づいた電子療法は、身体にやさしく作用する治療法です。いきなり長時間で使用されても効果が増すというものではありません。徐々に身体を慣らしていくことが大切です。下の表を参考に、はじめの頃は「時間は短め」に「出力は弱め」にして行ってください。

	1日 →	1週間 →	2週間 →	3週間 →	1ヶ月 ----->
超短波	ステップ 1 出力：弱 5～20分		ステップ 2 出力：中 5～20分		ステップ 3 出力：中 10～30分
					ステップ 4 出力：中～強 1 10～30分

	1日 →	1週間 →	2週間 →	3週間 →	1ヶ月 ----->
電位	ステップ 1 出力：弱 30分	ステップ 2 出力：弱 1時間	ステップ 3 出力：弱 2時間	ステップ 4 出力：弱 4時間	ステップ 5 出力：弱 4～8時間 または 出力：中～強 3時間

使用当初は一時的に頭痛・倦怠感・ふしぎしの痛みなどを感じることがあります。その場合は治療を2～3日休み、1つ前のステップから始めてください。特にこの症状は低血圧、貧血、虚弱体質の方に出やすいので、必ず最初は弱めから始めてください。それでも身体のだるい方は裏表紙の「お客様センター」にご相談ください。

# 故障かな？と思ったら

●修理・サービスを依頼される前に、次の表に従ってお確かめください。

症 状	調べるところ・原因・対策
電源が入らない	電源プラグが100Vコンセントに差し込まれていますか？
出力スイッチを押しても出力表示ランプが点灯しない	導子がきちんと差し込まれていますか？ ※P.13「エラー（E1、E2）について」をお読みください。

●電源プラグやコネクター、コード類は、定期的に点検・交換してください。



**注意**

3年以上使用した付属品による事故については、当社は責任を負いかねる場合がありますので、あらかじめご理解をお願いいたします。

症 状	原 因 ・ 対 策
コードのカバーが傷んでいる	電源プラグやコネクター、コード類が傷んでいます。そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。  直ちに電源プラグを抜いて、販売店に修理を依頼してください。
使用中、電源プラグやコネクター、コードの一部が熱い	
使用中にコード類を曲げたり伸ばしたりすると、通電が停止する	

**定期点検を受けましょう！**

本体や付属品は安全に使用し、性能を維持するために定期的（1年を目安）に点検を受けましょう。特に付属品は消耗品ですので、定期的に点検し、3年以内で早めに交換してください。

※使用状態により異なりますので、販売店または製造販売元へお問い合わせください。

**お客様  
センター**

ご不明な点がございましたらお気軽にお電話ください。

**TEL. 048 (254) 1019**

受付：平日（月～金曜日）午前10時～午後5時30分（土・日・祝日休み）

※担当者の不在などで、当日のご対応ができない場合もございます。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

# 操作早



本取扱説明書の注意事項をよくお読

# わかり

- 1 出力口に導子を差し込んでください。
- 2 電源スイッチを押してください。
- 3 使用者設定スイッチを押してください。
- 4 出力スイッチを押してください。
- 5 タイマースイッチで治療時間を変更できます。
- 6 治療開始スイッチを押してください。

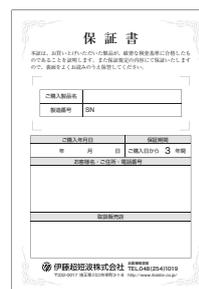
みになり、正しくお使いください。

## お客様安心サービス

### 保証書とユーザー登録カードについて

#### 保証書について

修理などアフターサービスを受ける際に必要となりますので大切に保管してください。保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店または伊藤超短波株式会社にお問い合わせください。



#### ユーザー登録カードについて

ご住所・生年月日・お買い求めの販売店などをご記入の上、郵便ポストに投函してください。

※ご記入いただく個人情報は、弊社製品・サービスの提供及びご案内、ユーザーサポート、商品に関する研究及び企画開発などのために、弊社及び販売店が利用させていただきます。

ユーザー登録カード ご記入は正確でいらっしゃってください。

フリガナ	ご購入年月日	
ご姓	年 月 日	年 月 日
生年月日	年 月 日 歳	性別 男女
ご住所	〒	
電話番号	FAX	
e-mail		

※ご記入いただく個人情報は、弊社製品・サービスの提供及びご案内、ユーザーサポート、商品に関する研究及び企画開発などのために、弊社及び販売店が利用させていただきます。  
プライバシーポリシーについては、弊社ホームページをご覧ください。http://www.itolator.co.jp/

## アフターサービス

機器の操作方法や治療法、その他のお問い合わせは

### お客様センター

TEL.048(254)1019 FAX.048(254)1049

受付：平日午前10時～午後5時30分（土・日・祝日休み）

※担当者の不在などで、当日のご対応ができない場合もございます。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

#### ISO 認証取得

当社は医療機器品質マネジメントシステム ISO 13485 を取得しています。

## 健康セミナー

健康に関するさまざまなテーマを取り上げ、情報を交換したり、健康相談をしたりして充実したひと時を過ごせるイベントです。どなたでもご自由に参加いただけますので、お気軽にご参加ください。

※詳しくは、お買い上げの販売店または、最寄りの営業所までどうぞ。

※各地でのセミナー開催スケジュールにつきましては、当社ホームページをご覧ください。



※画像はイメージです。

製造販売元  伊藤超短波株式会社

〒332-0017 埼玉県川口市栄町3-1-8

☎048(254)1015

https://www.itolator.co.jp/



コンシューマー営業部

東日本営業所（埼玉県）☎048(254)1016

西日本営業所（広島県）☎082(292)3320

販売店